

2022年度 事業計画案

音楽ボランティア派遣事業

●事業の目的と内容

音楽による余暇活動の支援を目的に音楽ボランティアを派遣する。通常1施設につき1名～5名程度がグループを組み、進行者、伴奏者、楽器配布や歌詞の準備をするなど役割分担をして、約45分～60分のプログラムを進める。季節の歌や懐かしい歌の歌唱、歌やリズムを使った体操、楽器の合奏など、主に参加型のプログラムを提供する。

●事業計画

音の風コロナウイルス感染症対策のガイドラインに基づいて活動の実施もしくは中止するかを判断し、活動を実施する場合には感染予防対策を徹底する。状況が好転した際に、スムーズに活動が再開できるよう、会員に対してメールやSNSなどを通じて情報共有を行う。

アーティスト派遣事業

●事業の目的と内容

コンサート、音楽療法、音楽レクリエーション、音楽レッスン、ワークショップ講師、講演会など、専門的なスキルを必要とする依頼に対して派遣を行う。

●事業計画

音の風コロナウイルス感染症対策のガイドラインに基づいて活動の実施もしくは中止するかを判断し、活動を実施する場合には感染予防対策を徹底する。オンデマンドを活用した音楽活動の可能性も検討する。状況が好転した際に、スムーズに活動が再開できるよう、会員に対してメールやSNSなどを通じて情報共有を行う。

ミュージックサロン事業

●事業の目的および本年度方針

音楽の練習を通して参加者の生きがいや居場所をつくりだすとともに、日ごろの練習の成果を地域に還元できるよう、社会貢献を目指した音楽活動を行う人材の育成に取り組む。ミュージックサロン事業については新型コロナウイルス感染症拡大以前から様々な課題があり、アフターコロナを見据え従来の課題への対応も含めて事業の強化に注力する。

ポップスコラス（岡崎リトルポップスターズ）

●事業の目的と内容

皆でハーモニーを奏でながら歌うことの喜びを味わってもらうと共に、音楽活動を通しての世代間交流を図る。

2022年度で結成9年を迎える、地域に根ざしたコーラスグループとして、音楽活動を通じて社会貢献する人材育成を図る。

●事業計画

退会・休会者への勧誘、広報強化する。会員募集に向けてWEB、SNSでの発信等、広報活動を継続する。年度内15名体制を目標とする。

ゴスペルコーラス（シャイニングスターズ）

●事業の目的と内容

ゴスペル音楽を通してメンバー間の交流を促し、音楽の楽しみや喜びを味わうとともに生きがいつくりにも貢献する。2022年10月で結成8年を迎え、結束力が強く現状の良い雰囲気を保持しながら活動し社会貢献につなげる。

●事業計画

ゴスペルの認知度を活かし、チームの利点をアピールできる広報活動を考慮する。会員募集に向けてWEB、SNSでの発信等、広報活動を継続する。年度内増員3名を目標とする。

中高年のための歌声教室

●事業の目的と内容

地域の中高年を対象に、参加者によるリクエストを中心に、唱歌や歌謡曲・童謡などの斉唱を楽しんでもらう。また、歌唱を通じた健康づくり、参加者同士の交流に貢献できるようなプログラムを実施する。

●事業計画

高齢者へのコロナ感染拡大抑制対応に配慮しながらも、健康維持のため継続できるよう工夫する。MusicMix との併せて「高齢者の介護予防プログラム」として広めていく。

中高年のためのピアノサロン

●事業の目的と内容

中高年の方々を対象としたオープン型のピアノレッスンで、クオリティ・オブ・ライフの向上と参加者同士のコミュニケーションを図る。

●事業計画

生徒募集に向けて WEB、SNS での発信等、広報活動を継続する。10 人以上の体制に向けての運営対応を整える。

ポップスコラスアドバンス（キャナリアンヴォイセズ）

●事業の目的と内容

より高度なコーラスを追求し、ジャンルを問わずコーラスを楽しめる時間を提供する。受講者に地域と触れ合う機会を提供し、社会貢献を目指した音楽活動をおこなう人材の育成を図る。

●事業計画

会員募集に向けて WEB、SNS での発信等、広報活動を継続する。年度内増員 2 名を目標とする。

子どもコーラス Comodo

●事業の目的と内容

小中学生を対象に、「音楽技術習得の場」としてではなく、「音楽で子ども達への成長の助けや自立を促す事」をコンセプトとして、地域と触れ合う機会と、社会貢献を目指した音楽活動経験を提供する。

●事業計画

生徒募集に向けて WEB、SNS での発信等、広報活動を継続する。年度内 8 名体制を目標とする。

ミュージックサロンイベント事業

●事業計画

- ・ミュージックサロン・コンサート（2022 年 9 月 10 日ロームシアター京都ノースホール）
- ・会員増員につながるイベント等の開催

岡崎いきいき市民活動センター

2022 年度から京都市からの指定管理料は約 3 割減額します。かわりに 100 円だった貸館の利用料金が 600 円に上がり、音の風の収入となることになりました。そして市民活動活性化事業は、人件費を含んだ形で年間 375 万円の提案業務になります。これからの 4 年間は、事業をいつまでもサポートするのではなく「自立自走」させていくように計画しました。初年度は基本的には、今までの事業を大切に進めながら、それぞれ関わる市民や団体が、独自に事業を起し動いていく方向で進めたいと思います。また岡崎地域において地域に根差した活動が定着し、地元団体のコーディネートがスムーズにできるようになりました。自主事業であった、ロームシアター京都との Okazaki Park Stage のコーディネートですが、2021 年度末から相談を受けて、一緒に計画を考えています。センターとしては、積極的に提案業務を進め、円滑に新体制に慣れるようにしたいと思います。

- ①市民活動自立自走事業
- ②文化芸術交流連携事業
- ③多世代交流事業
- ④地域連携事業

スマイルミュージックフェスティバル事業

●事業の目的と内容

「障害のある方もない方もともに音楽を楽しむイベント」として東山区の 4 つの機関（NPO 法人音の風、京都市東山区社会福祉協議会、京都市東部障害者支援センターらくとう、京都市東山青少年活動センター）で実行委員会を構成し運営を行う。

●事業計画

昨年度に引き続き、来場型による開催の見通しが立たない状況ではあるが、できる形を検討する。

新規事業（ミュージックミックスMusicMix）

●事業の目的と内容

高齢者の介護予防の取り組みについて以前から重要とされていたが、昨今のコロナ禍の影響により喫緊の課題となっている状況を鑑みて、音楽、楽器演奏、体操を組み合わせた高齢者介護予防音楽プログラムとして「MusicMix」を開発した。

●事業計画

- ・月2回、一般参加の定期活動を行う。歌声教室との共通回数券として利用者の拡大を図る。
- ・東山社会福祉協議会等の依頼に応じて派遣活動を行う。
- ・指導者の育成を図り、対応範囲を拡大する。
- ・運営資金として助成金等を活用する。

事務局

- 事務内容の見直しや作業の効率化を図り、ICT化をより一層進める。
- 既存事業・業務の標準化し、新規事業への対応準備を図る。
- 新規会員入会の広報・勧誘活動を強化する。
- 時流にあわせてホームページ、SNSを活用する。
- 新事業の開発推進、それに伴う資金調達等を検討する。

2022年度役員・人員体制

●2022年度役員

代表理事：西野桂子

副代表理事：山下聡

理事：國領亜由美、滋野浩毅、木下裕史、馬場雄司

監事：庄林幸士

●事務局体制

スタッフ：西野桂子、前滝康彦、森亜紀、吉田匠

アドバイザー：小野貴志

サポートスタッフ：小野貴志、大垣広晃、加藤かず江、菊地美紀子、平井寛爾、山下聡

●岡崎いきいき市民活動センター

センター長：西野桂子、（代行）木下裕史

常勤職員：齋藤真人

非常勤職員：曾和泉、岡田美智子、長尾操、高見美智子、龍怜子、吉田匠、吉田遥、ヘイナ啓子

会員交流

●目的と内容

会員間の親睦を目的として開催する。

●実施計画

会員の主体的な提案に基づき交流会を開催する。